

農畜水産業を通じた子どもたちへの食育推進事業 【事業費】 3,725千円

(1) 給食用野菜を通じた食育推進事業(H27~30年度)

【事業費】 3,145千円(H28)

【現状】

- ・学校給食野菜供給拡大事業(H23~26)では、全市町(32団体)で生産者組織を育成
- ・生産者組織は育成できたものの、生産者の思いや苦勞などを子どもたちに伝えきれていない
- ・学校給食への地場産野菜の供給量は依然少ない

【課題】

- ・生産者組織等や学校と連携し、県産野菜の学校給食への供給を通じた食育を推進する。

【事業内容】

1) 食育畑の推進

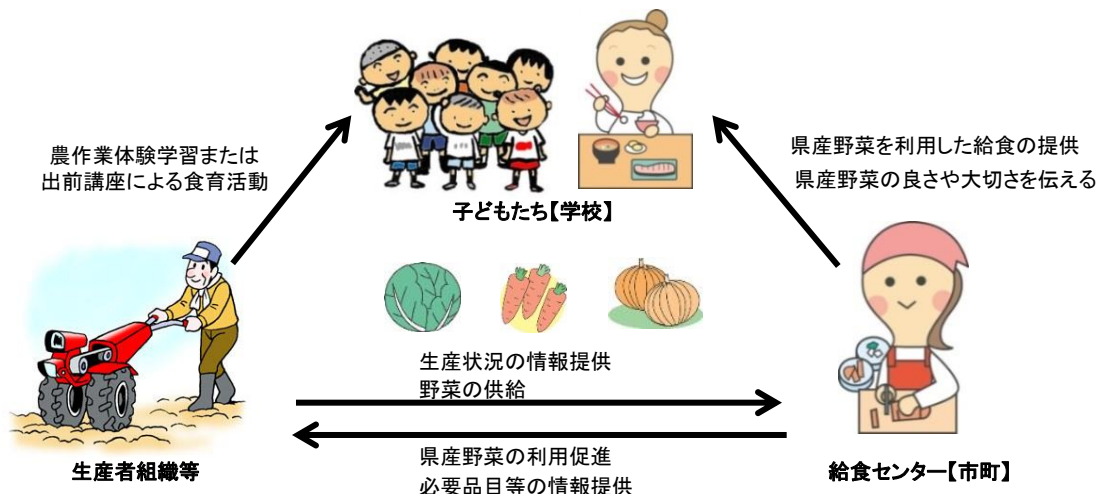
学校給食向け野菜の生産の現場において、子どもたちへの食育を推進する。

- ①事業主体 生産者組織等(市町を通じて支援)
- ②事業費 2,840千円(新規:100千円、継続:70千円)
- ③補助内容
 - ・生産者組織等による農作業体験学習または出前講座に要する経費
 - ・給食側のニーズ(時期・品目)に応じた生産技術の習得に要する経費

2) 学校からの県産野菜利用促進

県産野菜の学校給食での利用を促進するとともに、子どもたちにその良さや大切さを伝える。

- ①事業主体 滋賀県栄養教諭・学校栄養職員研究会
- ②事業費 200千円(委託)
- ③委託内容
 - ・学校給食向け野菜の生産に関する理解促進、県産野菜の献立検討、県産野菜の良さや大切さの伝達に要する経費



3) 生産者への技術指導等

給食側のニーズに対応した生産への誘導・技術指導 105千円

【目指す姿】

子どもたちが地元農業に親しみを持ち、理解し、将来の地域農業を支える人となる